



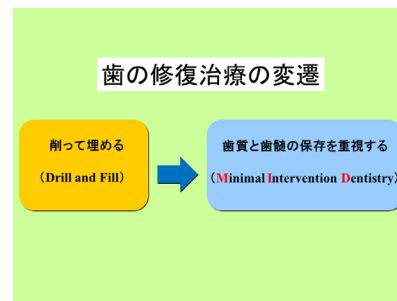
2.2

5歳未満の子供の発育阻害や消耗性疾患について国際的に合意されたターゲットを2025年までに達成するなど、2030年までにあらゆる形態の栄養不良を解消し、若年女子、妊婦・授乳婦及び高齢者の栄養ニーズへの対応を行う。

山本 一世
歯学部
歯科保存学講座

MID（最小限の侵襲による修復）を推進し、自分の歯を最大限保存して栄養摂取を維持する

MID (Minimal Intervention Dentistry) は「最小限の侵襲による歯の修復治療」です。「削って埋める」治療から、治療介入を必要最小限とし、予防を重視するとともに歯を削る量も必要最小限にする、「歯質と歯髄の保存」を重視した治療です。歯の硬組織疾患（う蝕や摩耗、外傷など）による歯質の破壊を抑制・回復するための材料および技術に関する研究や、歯科用レーザーの中でもとくにう蝕治療や知覚過敏に応用するレーザーについて研究し、歯を抜くことなく予防や治療をすることによって、大切な歯を口の中に維持、保存し機能させていくことを目指します。人工の修復物を極力使用せず、天然歯質を保存して、栄養摂取を生涯にわたり維持することを目指します。



message

口腔内疾患の多くは予防できるものです。それがSDGsの推進につながり、健康増進につながるということ発信していきたいと思えます。